



王桜中だより

第5号 令和5年8月

北区长 王子桜中学校
校長 吉原 健



「話を聴く」ということ

校長 吉原 健

先日いつものように朝正門に立っていたら、3年生の生活委員の生徒が何気なく正門の外に立ってあいさつの声を掛け始めました。私は「あれ？なぜ正門の外に立っているのかな？」と不思議に思い、その生徒に行動の理由を聞いてみました。すると、『生活委員会の時にみんなまで話し合った結果、今年から曜日によって学年交代で正門の外に立つことを決めました。それは、登校してくる小中学生だけでなく、毎朝学校の前を通り過ぎる地域の方たちにも私たちのあいさつを届けたいと思ったからです…』とってくれました。

その話を聞いて私はとてもうれしくなりました。王子桜中が大切にしている〈あいさつ〉を校内だけでなく、地域にもあいさつの輪を広げたいという気持ちが芽生えているのです。中学生のあいさつが地域の人にも元気を届ける原動力になったら素晴らしいと思います！

さて話は変わりますが、先日教員対象の校内研修を行ったときに、ご指導いただいた講師の先生から大変示唆に富んだお話をいただきました。

特に私は〈生徒の話を聴くときのコツ〉として話された以下の内容が印象に残りました。

○生徒の話を聴くときは、いったん自分の手を止めて、身体を生徒に向ける。

その場で聴くことが難しいときは、時間を決めて、必ず後で生徒の話を聴いてあげる。

○すぐに自分(教師)の意見を言わない、急いでアドバイスし過ぎない。

○生徒自身が話す時間を多くすることで、生徒は自分の気持ちを癒やすことができる。

○生徒に気持ちを教師自身が「教えてもらう」つもりで聴く。生徒のその感情、その行動には必ずその子なりの理由がある…などです。

文脈にもよりますが、教師が生徒に対して「大丈夫だから…」「心配ないよ…」「あなたの気持ちは分かるよ…」などと安易に言わないことが大切だと私は受け止めました。

むしろ、「生徒の気持ちが分からない…」、「生徒の気持ちを知りたい…」という態度こそ必要なのではとも考えました。あとは教師が“じっと待つ”姿勢でしょうか。饒舌さより沈黙の方が価値を生む場面もあるはずです。そして、こうしたことは実は親子の関係にも当てはまるのではないかと思います。「子どもの話を聴く」、「子どもが話すのを待つ」ということについて、私たちも保護者の方たちと一緒に考えていけたら幸いです。

明日から42日間の長い夏休みに入ります。お子さまにとって貴重な体験や学びが得られる時間になることを心から願っています。引き続きお子さまの健康や安全にご留意いただければ幸いです。夏休み明けに元気な生徒たちの顔を見られることを楽しみにしています！

7, 8月の行事予定

日	曜日	7,8月行事予定	日	曜日	7,8月行事予定
21	金	夏季休業日始 三者面談始	8/1	火	三者面談
24	月	三者面談	2	水	三者面談
25	火	三者面談	3	木	三者面談終
26	水	三者面談	10	木	学校閉庁日
27	木	三者面談	14	月	学校閉庁日
28	金	三者面談 1年岩井臨海前日指導	15	火	学校閉庁日
29	土	1年岩井臨海学園	16	水	学校閉庁日
30	日	1年岩井臨海学園 北区進路フェア	31	木	夏季休業日終
31	月	1年岩井臨海学園	9/1	金	全校集会 避難訓練

校則について考える

本校の生徒会が校内に設置した「意見箱」には、生徒の皆さんから〈校則〉に関する様々な意見や要望が寄せられています。生徒会役員はこうして寄せられた一つ一つの生徒の声を取り上げ、それらが王桜中のよりよい学校生活につながるかどうか時間をかけて話し合っています。こうした話し合いを経て生徒会がまとめた「改善案」を基に、生徒会役員と校長、生活指導主任等との話し合いに臨みます。生徒会役員は改善案の理由や根拠について、具体的かつ明確に説明してくれます。



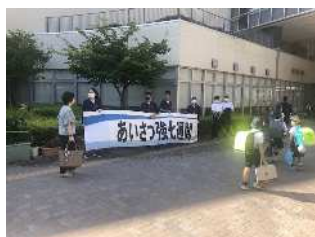
その後は、運営委員会や職員会議で〈校則〉の見直し案についてさらに協議し、必要に応じてPTAや学校評議員の方たちの意見もお聞きしながら、見直し案を決定していきます。

7月10日の生徒会朝礼では、「なぜ校則を見直すのか？」というテーマで、生徒会役員から全校生徒に問題提起が行われました。残念ながら「意見箱」に寄せられる意見の一部には、個人の自由のみを求める身勝手な要望も見られるようです。

生徒会は『皆さんの意見は王桜中をより良くするきっかけになる大切なものです。このことをよく理解して(意見箱を)利用してください!』と全校生徒に呼びかけました。生徒会役員が自分たちの思いや願いをこめて全校生徒に真摯に語ることは、王桜中の〈自主〉の精神をさらに促し成長させていく…と確信することができました。



事務室から見た王桜生

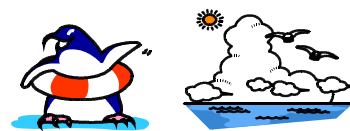


毎朝私と正門に立って登校する小中学生に挨拶を続けている事務室の渡邊さんに「事務室から見た王桜生」という視点で、7月3日の全校朝礼で話してもらいました。少し紹介します…。

『私は中学生時代、行事や学校運営のほぼ全てのシナリオや構成が先生たちに仕組まれたものであると感じていました。しかし王桜中はそのような気はしていません。生徒会朝礼は、生徒会の皆さん一人一人の言葉選びに個性を感じましたし、体育祭は自分たちで盛り上げる気概を感じました。また、今までの中学校教育では「中学生はこうあるべき」というものを強く押しつけられているような気がしていましたが、これも王桜中では感じられません。校門に立っていれば、大きな声で挨拶をする生徒もいれば簡単に会釈を返す生徒もどちらもいて、それぞれに合った挨拶の仕方があるのだと思いました。皆さんは自分で考えて正しいと思うこと、自分に合っていると思うことを選択することができます。そしてその自主性を尊重し認めてくれる先生も王桜中だからこそです…』

教師という立場ではない職員から王桜生を語ってもらう場面はあまりありませんが、この日の朝礼では事務室の立場で王桜生への温かいメッセージを届けてくれたと思っています！

お知らせ



○1年生岩井臨海学園について

7月29日(土)～31日(月)まで1年生の岩井臨海学園が行われます。出発前のお子様の健康管理についてご配慮をお願いします。なお、7月28日(金)午前9時より前日指導を行います。

○3年生修学旅行について

9月3日(日)～5日(火)まで3年生の修学旅行が行われます。夏休みが終わってすぐの出発になります。夏休み中のお子様の健康管理についてご留意いただければ幸いです。

○陸上部 第62回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会

走り幅跳び 第2位 S.T 記録 6m43 cm

※S.Tさんは8月7日,8日に茨城県で行われる関東大会に出場します!!

○女子バレーボール部 北区中学校夏季バレーボール大会 第3位

ベストプレイヤー賞 I.M

優秀選手賞 I.M